

9月16～17日(水・木)

道東地域林政連絡調整会議が開かれる

9月16～17日の2日間にわたり、釧路市及び白糠町において、道東地域林政連絡調整会議が開かれました。この会議は、国有林と民有林の協力・連携強化のため、十勝、釧路、根室支庁管内の道林務関係職員、国有林関係職員が集まり、各地域の森林・林業に係る課題、取組の情報交換を行うものです。当センターも同会議の構成員となっており、2日間にわたり参加しました。

1日目は、「風倒等の被害を受けた森林の復旧」をテーマに現地視察を行いました。白糠町では 水源地域を保全するための治山事業実施箇所、資源作物として有望なヤナギを挿し木により試験造成している箇所、釧路市阿寒町では 地すべり被害地の復旧治山工事箇所、の3箇所を見て回りました。2日目は、根釧西部森林管理署会議室を会場に、各機関から取組内容や課題について報告し、意見交換を行いました。

道有林・民有林と国有林との連携は、お互いの人を知り、取組を知ることが大切です。今回の会議を通してそのきっかけができたことから、今後の連携に生かしていきたいと思います。

(所長 中島)



水源地域を保全するための治山事業実施箇所（白糠町）



ヤナギを試験造成している箇所（白糠町）



地すべり箇所を視察（旧阿寒町）



意見交換会の様子